

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は9月30日～10月14日に、全国のプレカット工場を対象に新型コロナウイルスの影響についての緊急電話調査を実施した。調査は3回目。工場の稼働状況は「今までどおり稼働中」と答えた工場が50%で、初回の73%、2回目の62%から減少したが、半数は従来どおりの稼働率を維持していることが分かった。

回答は284社。初回調査は緊急事態宣言発令直後の4月7～23日、2回目は約1カ月後の5月11～22日に実施した。

工場の稼働状況は「大きく低下」がわずかに6%と、初回と2回目の8%から減少した。「少し低下」は42%と初回の16%、2回

「今まで通りの」稼働が5割維持

ネットイーグルのプレカット工場調査

「減少」増加も大きな落ち込み回避

受注見通しについて「今までどおり」が48%、「少し減る」が42%、「大きく減る」が5・6%、「増加する」が2%で、ほぼ現状と変わらない。先行

まで増加した。一方、「大きく減る」との見方は初回の15%から、2回目は23%まで増えていたが、4分の1まで縮小した。稼働率が低下した工場は感染拡大当初より増えたものの、当初懸念されたほどの大きな落ち込みは免れたことが分かる。

回目は18%に上昇したが、1桁台に減少した。新たな日常に慣れ、会社勤務に戻す工場が増えたと見られる。

目の28%から段階的に増えたが、「大きく低下」と合わせても47・1%と半数を下回った。

一方、足元で「稼働が増加している」と答えた工場も2・5%あった。

「影響な」との見方は初回16%、2回目は12%まで減少したが、半数近く

「新型コロナウイルス対策(複数回答)としては「手洗い、アルコール消毒、マスク着用等」が90%、「時差出勤」が5%、「テレワーク」が5%。テレワークは初回が13%、2

社のパソコンを持ち込まなくても在宅ワークが可能になるネットワークを開発し、CADオペレーターへのテレワークニーズに答えている。同社のCADはIT導入補助金の特別枠「C類型12」に登録され、補助金を活用したCADの導入も進んでいる。